



平成30年の年間方針

『行動の年』

平成30年の年間実践テーマ

- (1) 勤行・唱題で折伏達成
- (2) みんなで声かけ御講参詣
- (3) 支部総登山で育成推進



日	月	火	水	木	金	土
				1 一日詣り/永代経 (午前10時)	2 宅御講 (午後7時)	3 日布上人 100回遠忌法要 (総本山/代表登山)
			支部唱題会		午前9時・午後7時	午前9時
4 日布上人 100回遠忌法要 (総本山/代表登山)	5	6	7	8	9 宅御講 (午後7時)	10
	午前9時・午後7時	午前9時・午後7時	午前9時・午後7時	午前9時・午後7時	午前9時・午後7時	午前9時
11 御報恩御講 (午後1時) ----- 少年部会 (午前10時半) 青年部会 (御講終了後)	12	13 御報恩題目講 (午後7時)	14	15 寺院清掃 (午前10時)	16 宅御講 (午後7時)	17 広布推進会 (午後7時/持経寺) 壮年部対象
	午前9時	午前9時	午前9時・午後7時	午前9時・午後7時	午前9時・午後7時	午前9時
18 彼岸入り 広布唱題会 (午前9時)	19	20	21 春分の日 春季彼岸会 (午後1時)	22	23	24 彼岸明け ひねもす唱題会 (午前8時～午後6時)
	午前9時・午後7時	午前9時・午後7時	午前9時	午前9時・午後7時	午前9時・午後7時	
25 春季総登山会 (総本山)	26	27 寺院清掃 (午前10時)	28	29	30	31
	午前9時・午後7時	午前9時・午後7時	午前9時・午後7時	午前9時・午後7時	午前9時・午後7時	午前9時

2月18日(日)のひねもす唱題会割り当て

- 8:00-9:00 宮前/高津ブロック (旧須藤G/八重尾講頭/秋元B)
- 9:00-10:00 港北 (旧大倉G/旧上野G/吉野B/長田B)
- 10:00-11:00 青葉/都筑/ (財津G/鈴木B/佐藤B)
- 11:00-12:00 川崎/幸ブロック (池本G/甘草G/榊山B)
- 12:00-13:00 鶴見/神奈川ブロック (網中G)
- 13:00-14:00 麻生/大和ブロック (中野G/小島B)
- 14:00-15:00 多摩ブロック (戸塚G/畠山B)
- 15:00-16:00 中原ブロック (馬田G/青木B)

日布上人 (3日・4日)
100回遠忌法要
(総本山・代表登山)

御法主日如上人猊下御指南

法華講員八十万人勢の構築は、私どもが仏祖三宝尊の御宝前に固くお誓い申し上げたことであり、邪義邪宗の謗法の害毒によって苦悩に喘ぐ多くの人々を救い、五濁乱漫として混迷を極めている末法今時の世情を浄化し、真の平和を築き、仏国土を実現するため、宗門の総力を結集して、なんとしてでも達成しなければならぬ、極めて大事な目標であります。そのためには、まず私も一人ひとりが地涌の菩薩の眷属としての自覚と決意を持って真剣に唱題に励み、その功德と歓喜をもって、異体同心・一致団結して折伏を行じていくことが肝要であります。

大聖人様は『総在一念抄』に、

「問うて云はく、一文不通の愚人南無妙法蓮華經と唱へては何の益か有らんや。答ふ、文盲にして一字を覚悟せざる人も信を致して唱へたてまつれば、身口意の三業の中には先づ口業の功德を成就せり。若し功德成就すれば仏の種子むねの中に収めて必ず出離の人と成るなり。此の經の諸經に超過する事は誹謗すら尚逆縁と説く不輕輕毀の衆是なり。何に況んや信心を致す順縁の人をや。故に伝教大師云はく『信謗彼此決定成仏』等云云」
(御書一一五頁)

と仰せであります。

すなわち「一文不通の愚人」、經文や論釈などの一つの文字も知らない者が南無妙法蓮華經と唱えて、いかなる功德、利益があるのかとの問いに対して、「たとえ文字の読み書きができない者であっても、信心をもってお題目を唱えていけば、身口意の三業のなかには、まず口業の功德を成就するのである。もし、口業受持の功德を成就すれば、成仏の種子を胸のなかに収めて、必ず生死の迷いや苦しみから離れ、悟りを開いて生死の苦しみを克服することができるのである。この法華經が余經に超過して勝れていることは、法華經を誹謗する者ですら、なお逆縁の成仏が説かれていることである。それは法華經不輕品におけるところの不輕菩薩を輕毀し、悪口罵詈した者と同じである」と仰せられているのであります。

(平成三十年広布唱題会の砌)

☆平成30年支部総登山の御案内☆

- 第1回 4月22日(日)
- 第2回 9月30日(日)
- 第3回 11月24日(土)

支部総登山は御住職様の引率のもと支部講員が揃って登山致します。本年は3回行われますので、必ず家族みんなで御登山いたしましょう。



支部・各部のお知らせ

◇3月度の神奈川布教区広布推進会 (壮年部対象)

日時 3月17日(土) 午後7時～
場所 持經寺本堂

春季彼岸会

3月21日(水/祝) 午後1時

仏法で説くところは四恩報謝であります。この中で誰にでもすぐできる一番簡単な修行は、父母祖先への知恩報恩です。ゆえに彼岸会のこの日に御本尊に御供養し、先祖の塔婆を立てて回向するのであり、この一番簡単な善行が大善行となって到彼岸の要因となるのであり、これこそ真の彼岸会であります。

私達は彼岸会の本来の意義をよくわきまえ、さらにこの日を期して信心強盛に、自行化他にわたる折伏行に励み、即身成仏を願い切っていくことがもっとも肝要です。

※春季彼岸会当日はお塔婆申込みは大変込み合いますので、早目のお申込みをお願い致します。

総本山御霊宝虫弘大法会についてお知らせ

日程 4月6日(金)～7日(土)の一泊二日

お寺様二階のロビーの掲示板に参加希望者のエントリー表を貼り出しますので、ご希望の方は3月11日(日)の御報恩講までに記入して下さいますようお願い致します。

また、記入が難しい場合は登山部・佐伯までご連絡下さい。(今回の人数枠は15名、登山費は3060円です。)

参加希望者が多く定員オーバーの場合は、御住職様の御裁定により参加者を決定いたしますので、あらかじめご了承のほどよろしくお願い致します。

